

令和4年度保護者アンケートの結果

令和4年度保護者アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

【調査期間】

令和5年1月20日（金）から令和5年1月31日（火）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

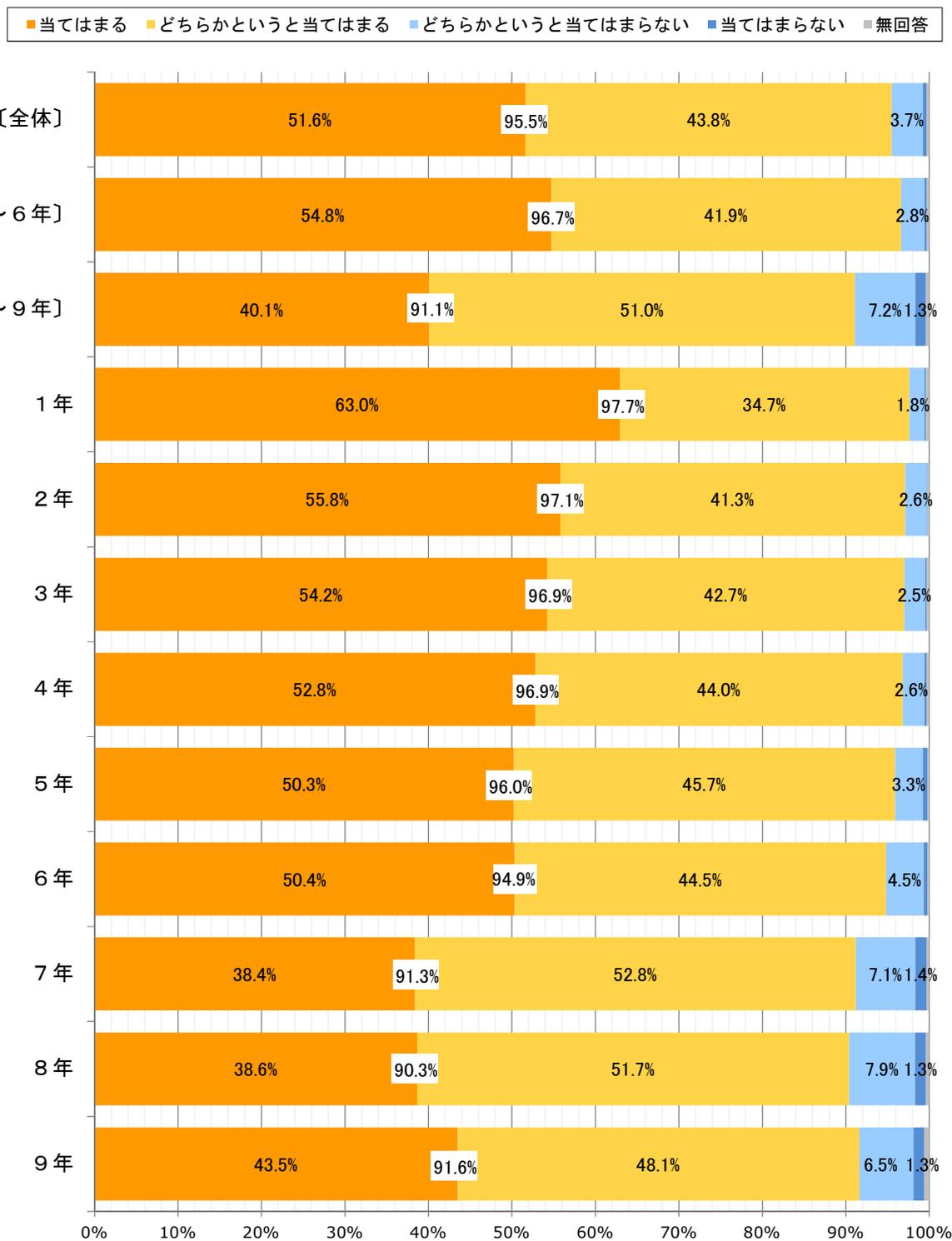
配布数 22,609 回答数 20,308（内、有効回答数 20,236） 回答率 89.5%

注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

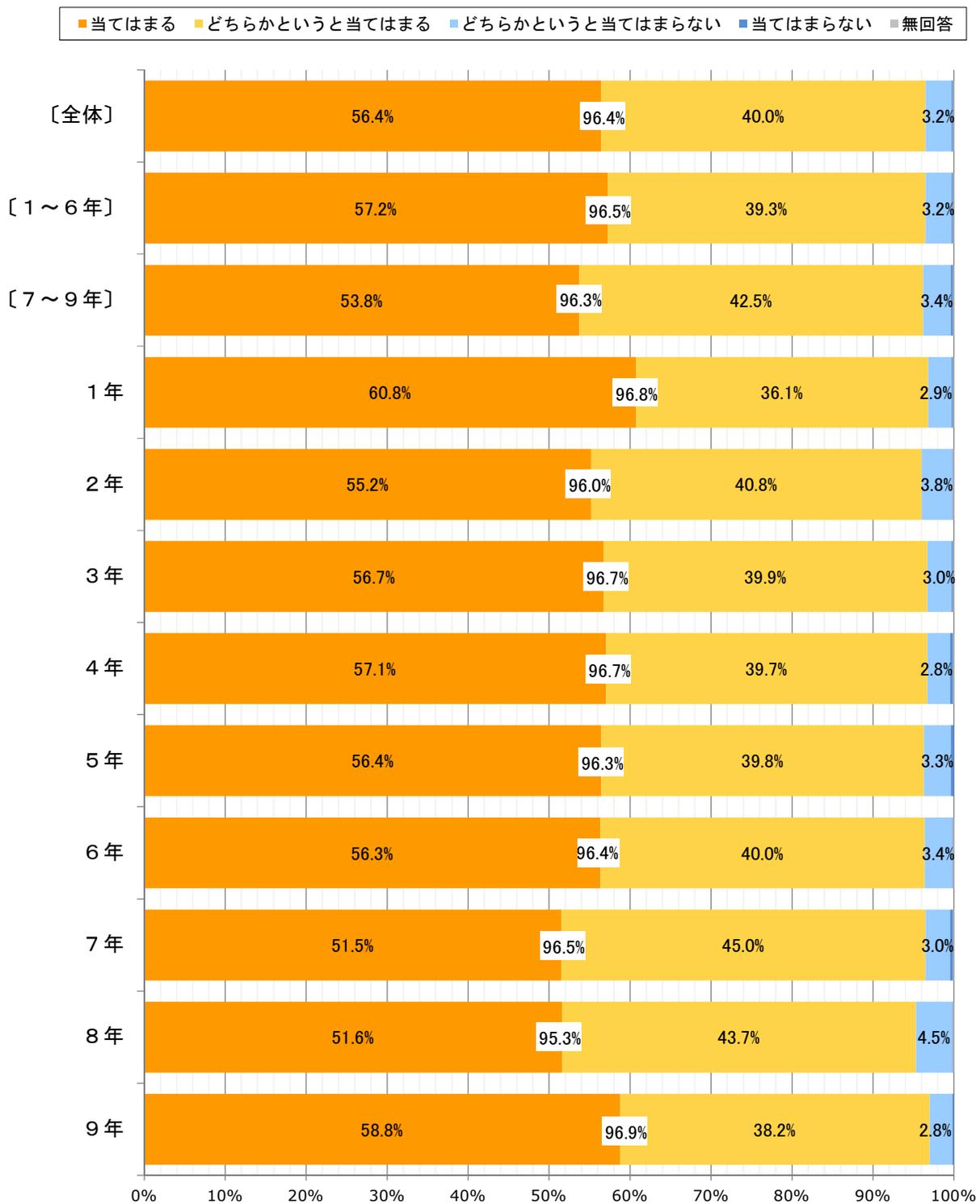
[1] 基本的な生活習慣が身に付くようにしている。



「基本的な生活習慣が身に付くようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で95%を超える。1～6年は96.7%、7～9年は91.1%である。

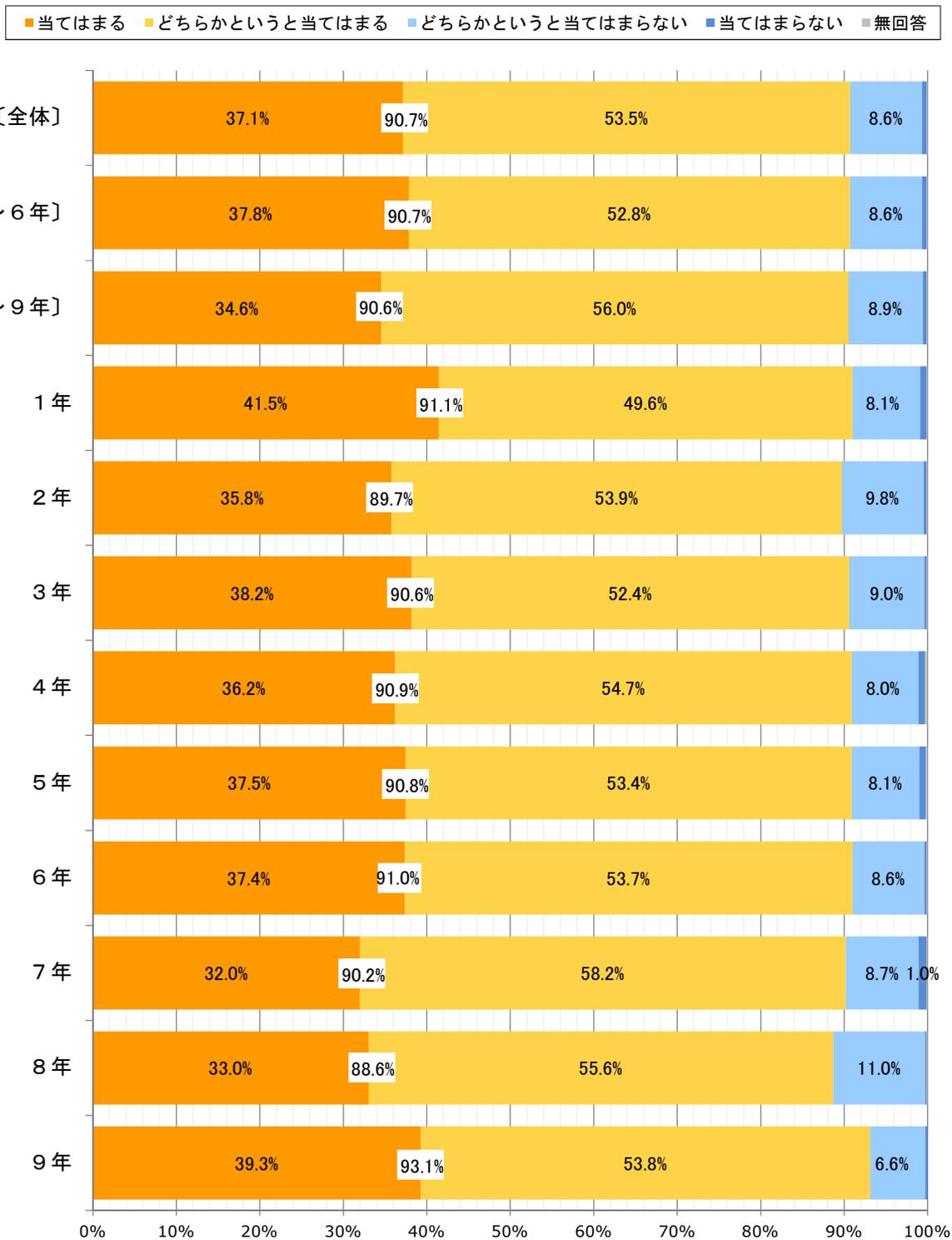
「当てはまる」は1～6年の54.8%に比べ、7～9年は40.1%と低い。

[2] 挨拶がしっかりできているようにしている。



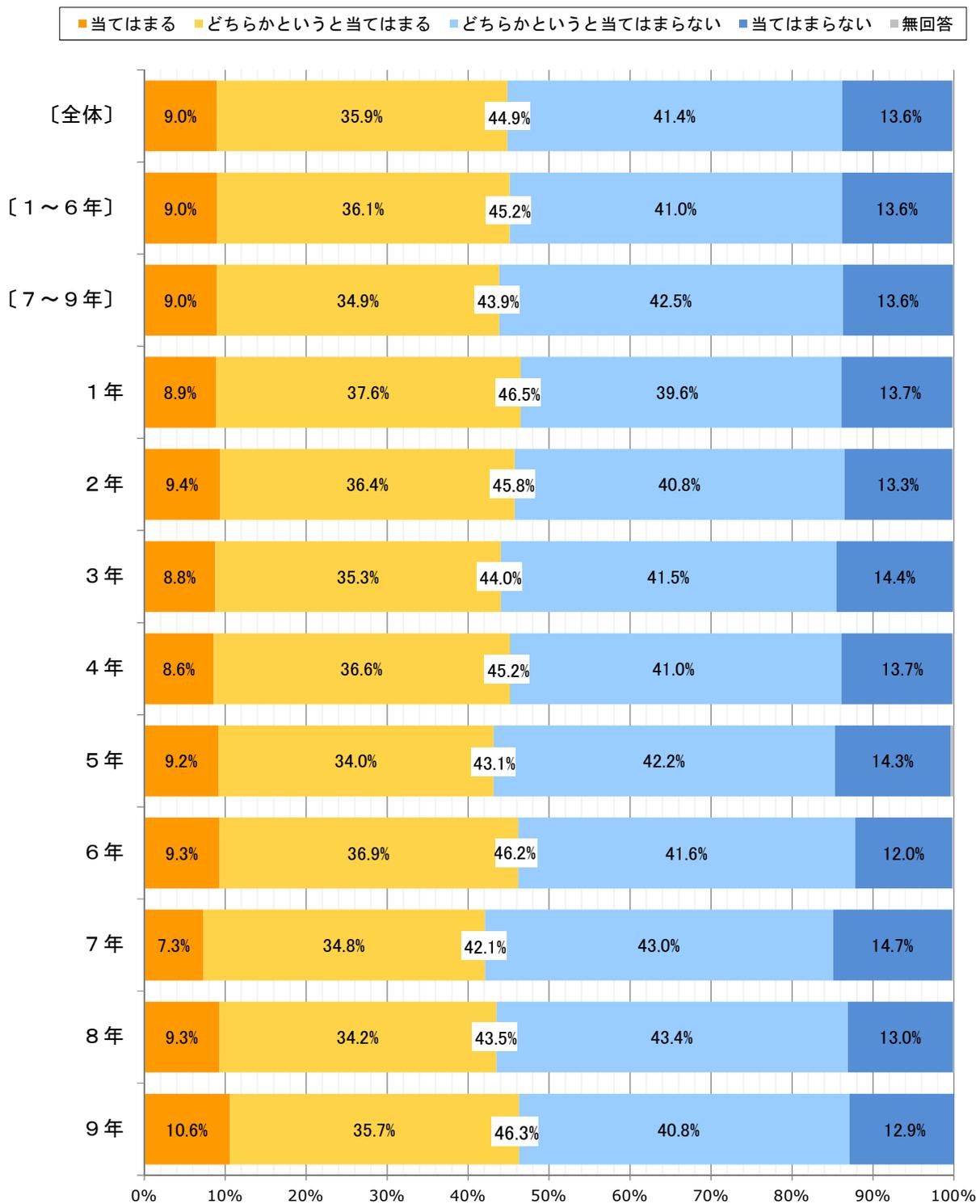
「挨拶がしっかりできているようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で95%を超える。1～6年は96.5%、7～9年は96.3%である。
 「当てはまる」の割合は全学年で50%を超えており、1年では60.8%と最も高い。

[3] 丁寧な言葉づかいができるようにしている。



「丁寧な言葉づかいができるようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で約90%を占める。1～6年は90.7%、7～9年は90.6%である。
 「当てはまる」の割合は全学年とも30～40%台である。

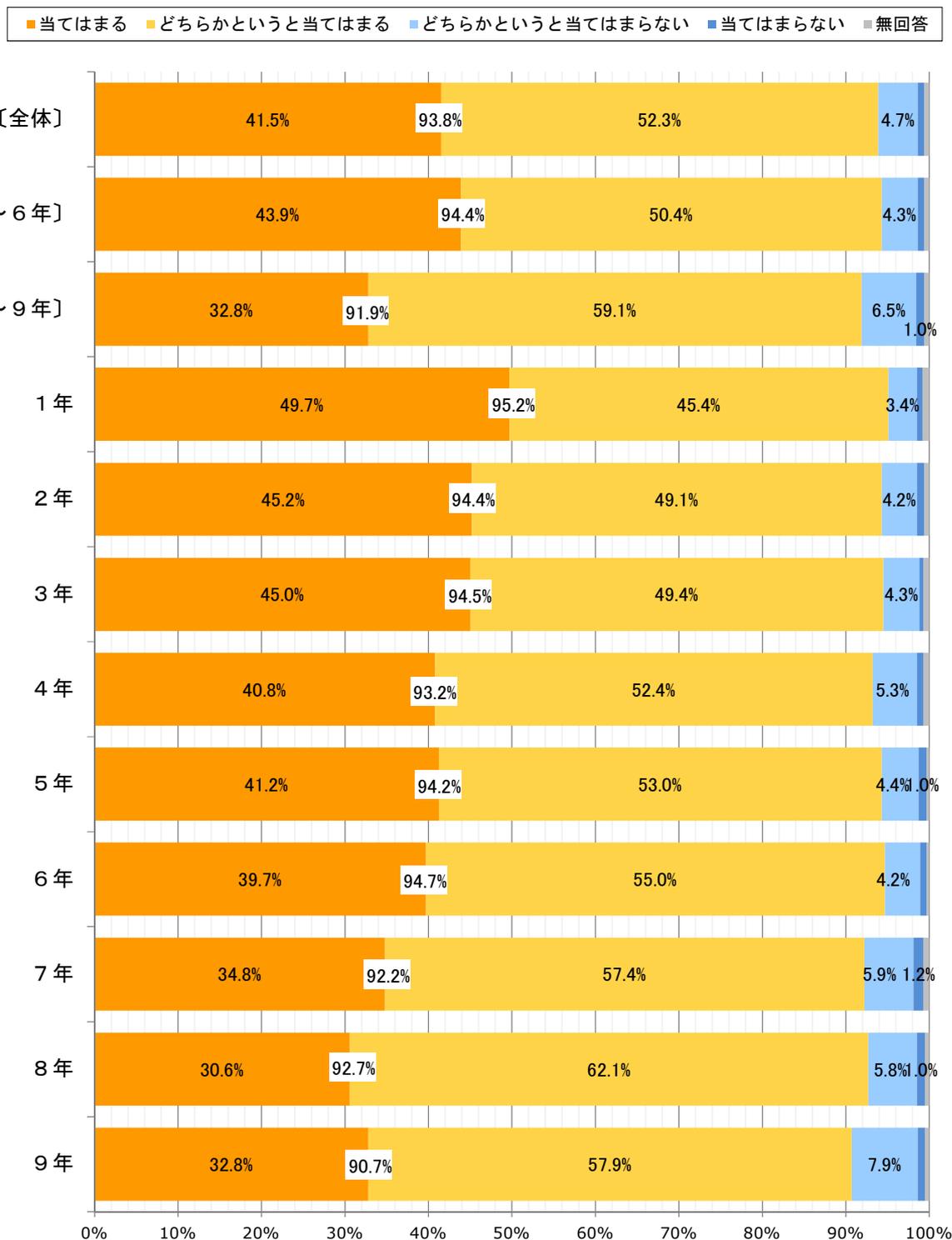
[4] 地域行事やボランティア活動に参加させるようにしている。



「地域行事やボランティア活動に参加させるようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で約45%であり、1～6年では45.2%、7～9年では43.9%である。
回答傾向に学年による大きな差はみられない。

[B. 品川区の教育施策について]

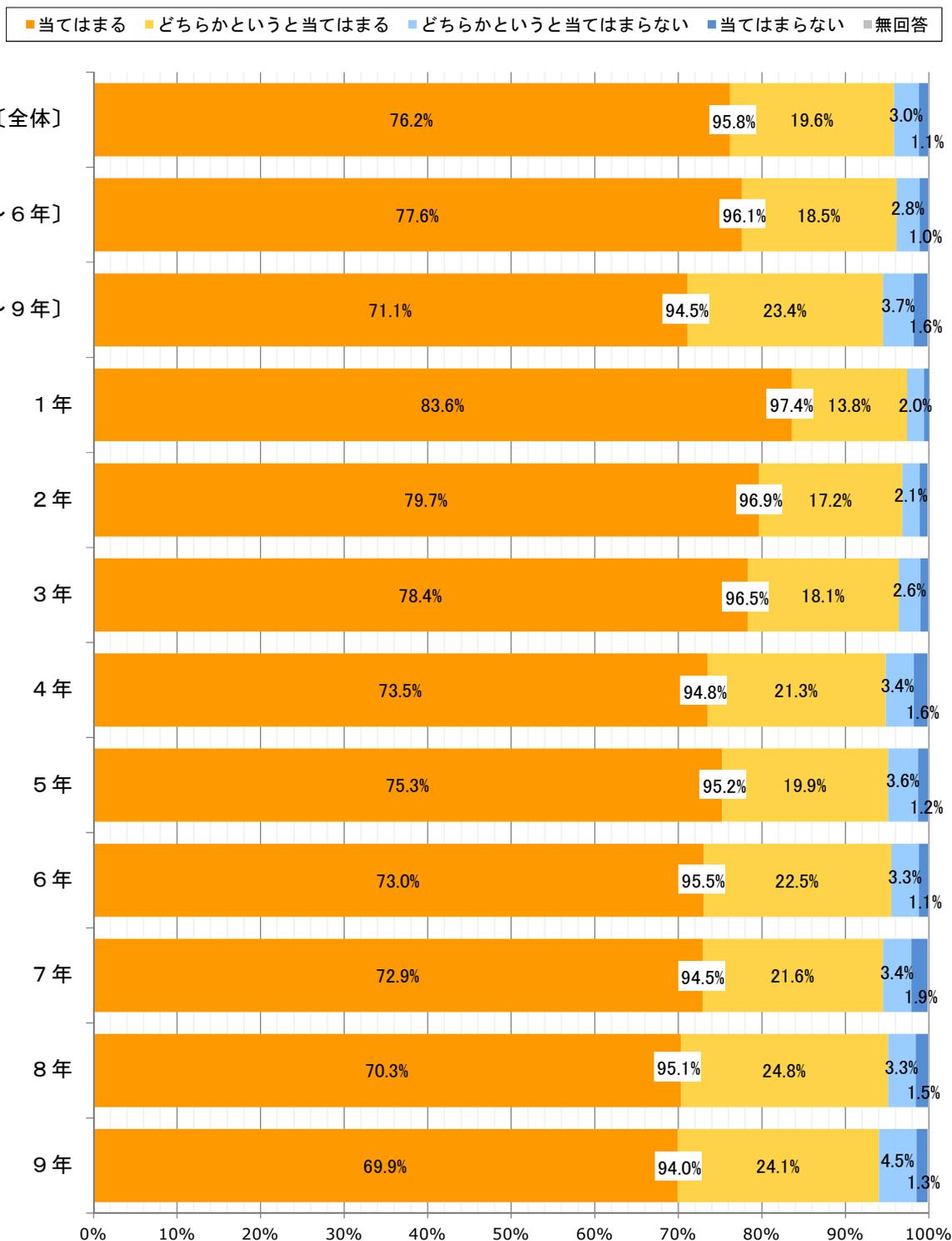
[5] 独自教科である市民科は、良い学習だと思う。



「独自教科である市民科は、良い学習だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で90%を超える。1～6年は94.4%、7～9年は91.9%である。

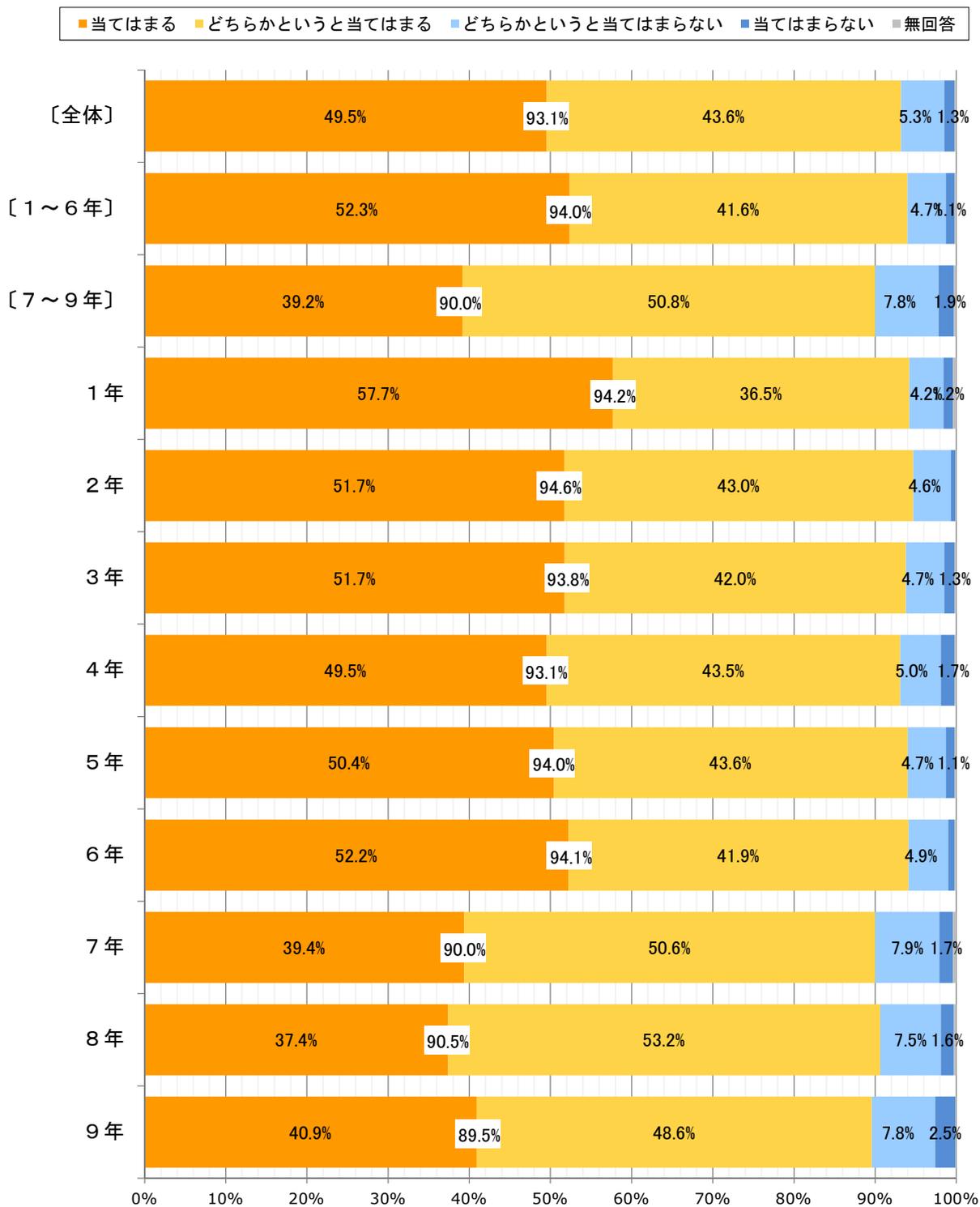
「当てはまる」の割合は1～6年の43.9%に比べ、7～9年は32.8%と低い。

[6] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



「1年生からの英語学習は良いことだと思う」に『肯定的な回答』は、全体で95%を超える。1～6年は96.1%、7～9年は94.5%である。
 「当てはまる」の割合は1年で83.6%と最も高く、9年で69.9%と最も低い。

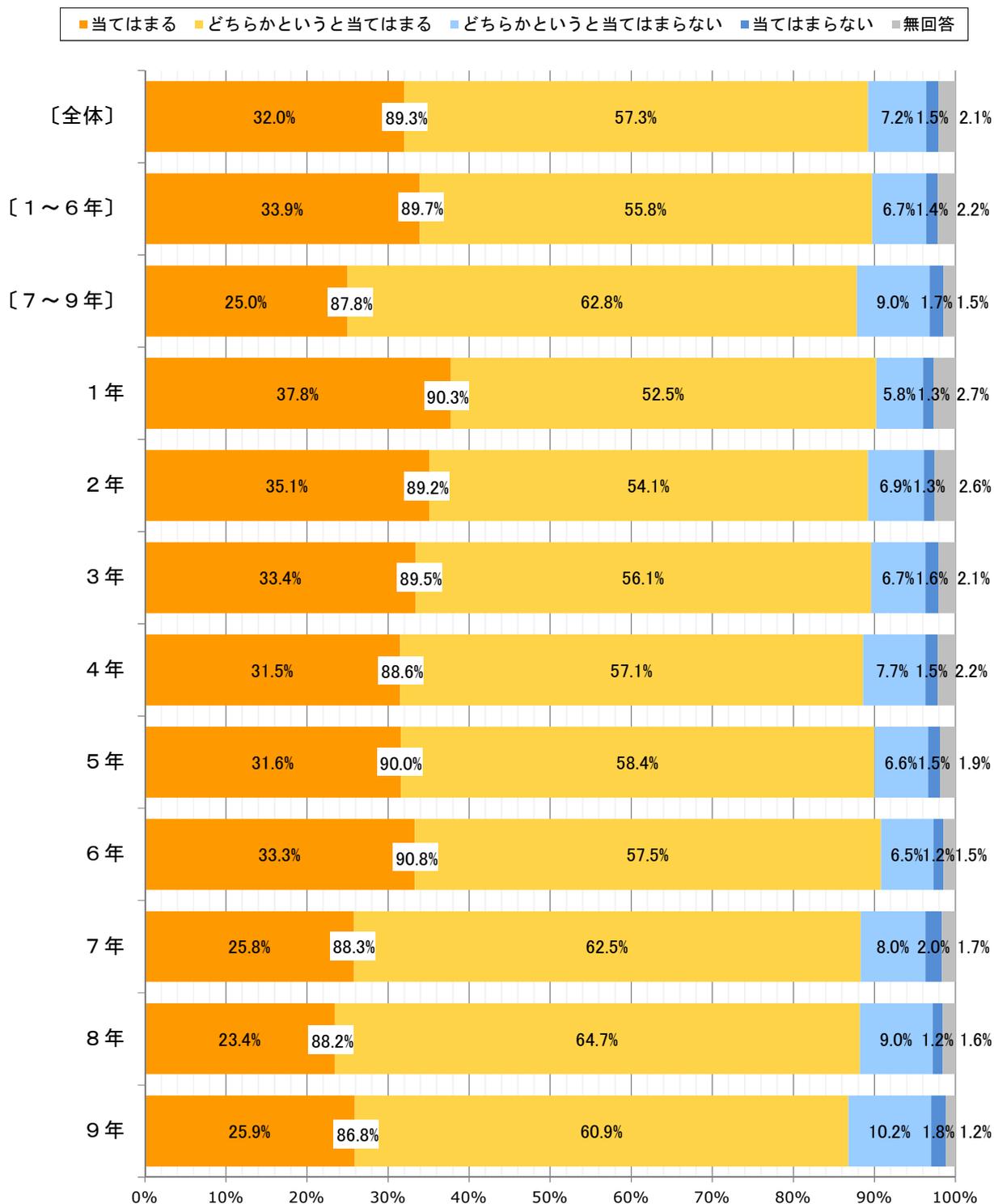
[7] 現在通っている学校に満足している。



〔現在通っている学校に満足している〕に『肯定的な回答』は、全体で90%を超える。1～6年は94.0%、7～9年は90.0%である。
 「当てはまる」の割合は1～6年の52.3%に比べ、7～9年は39.2%と低い。

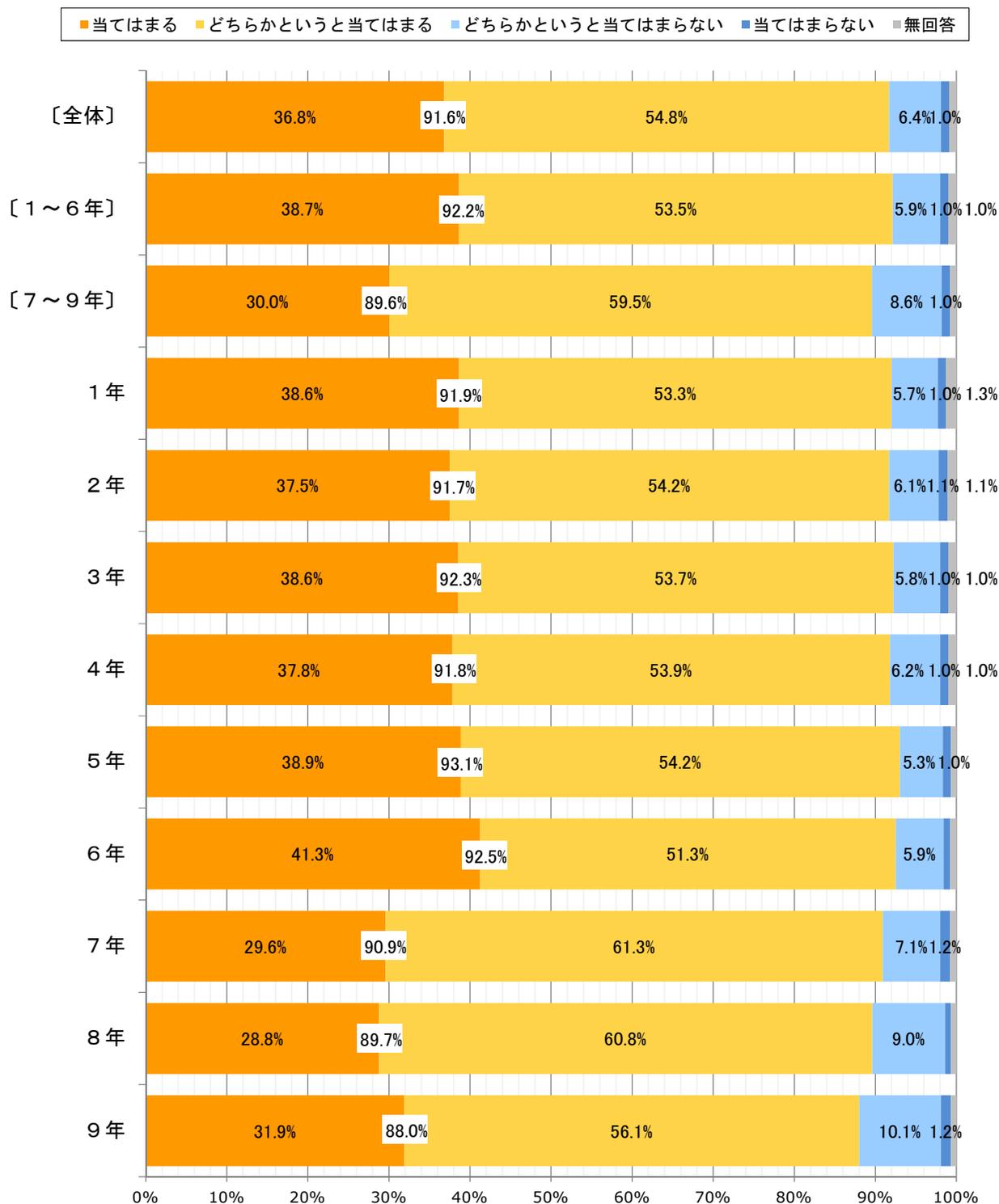
[C. 学校と地域との連携・協働について]

[8] 品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う。



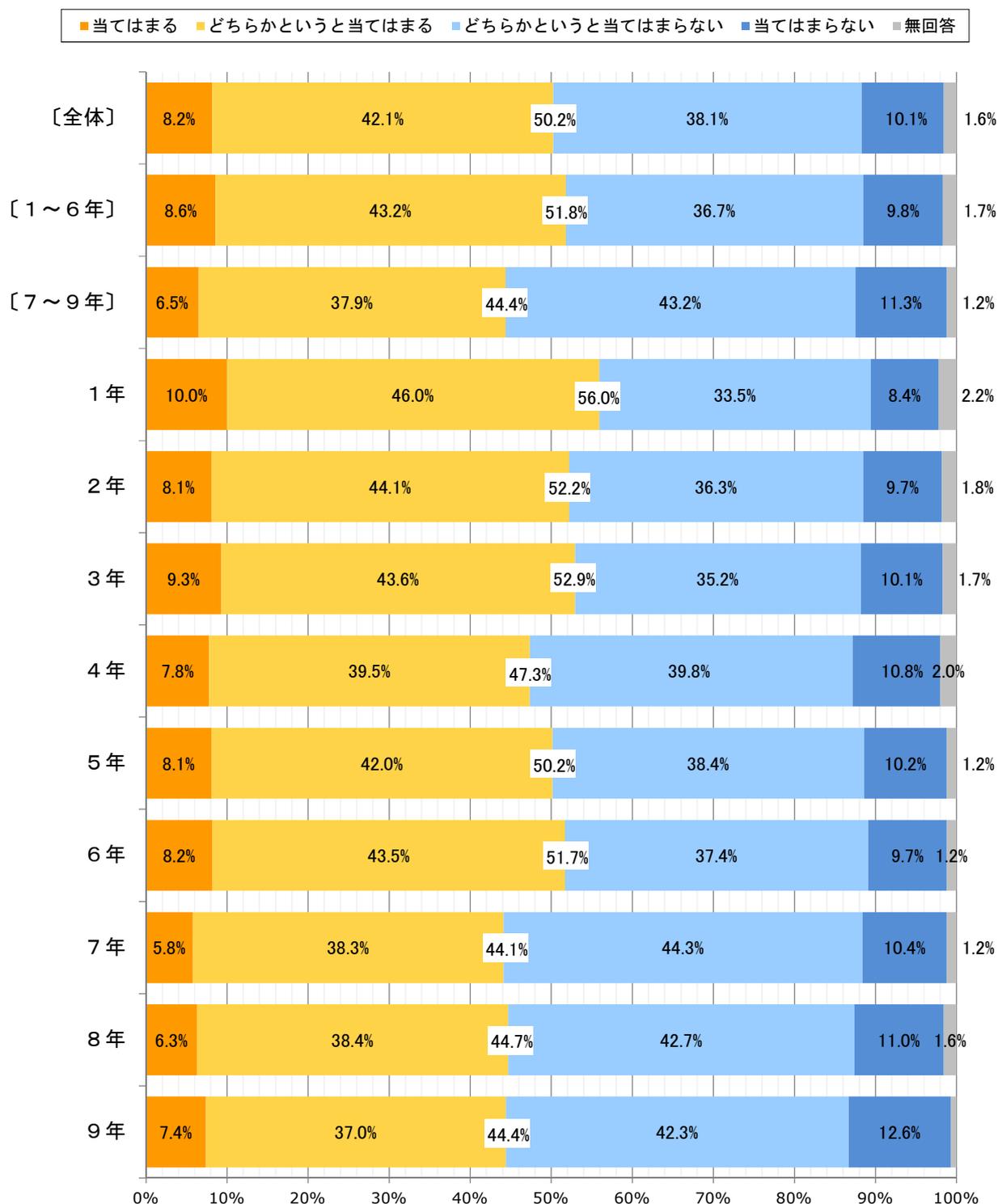
「品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で約90%を占める。
 1～6年は89.7%、7～9年は87.8%である。
 「当てはまる」の割合は1～6年の33.9%に比べ、7～9年は25.0%と低い。

[9] お子さんの通っている学校は、地域と連携している。



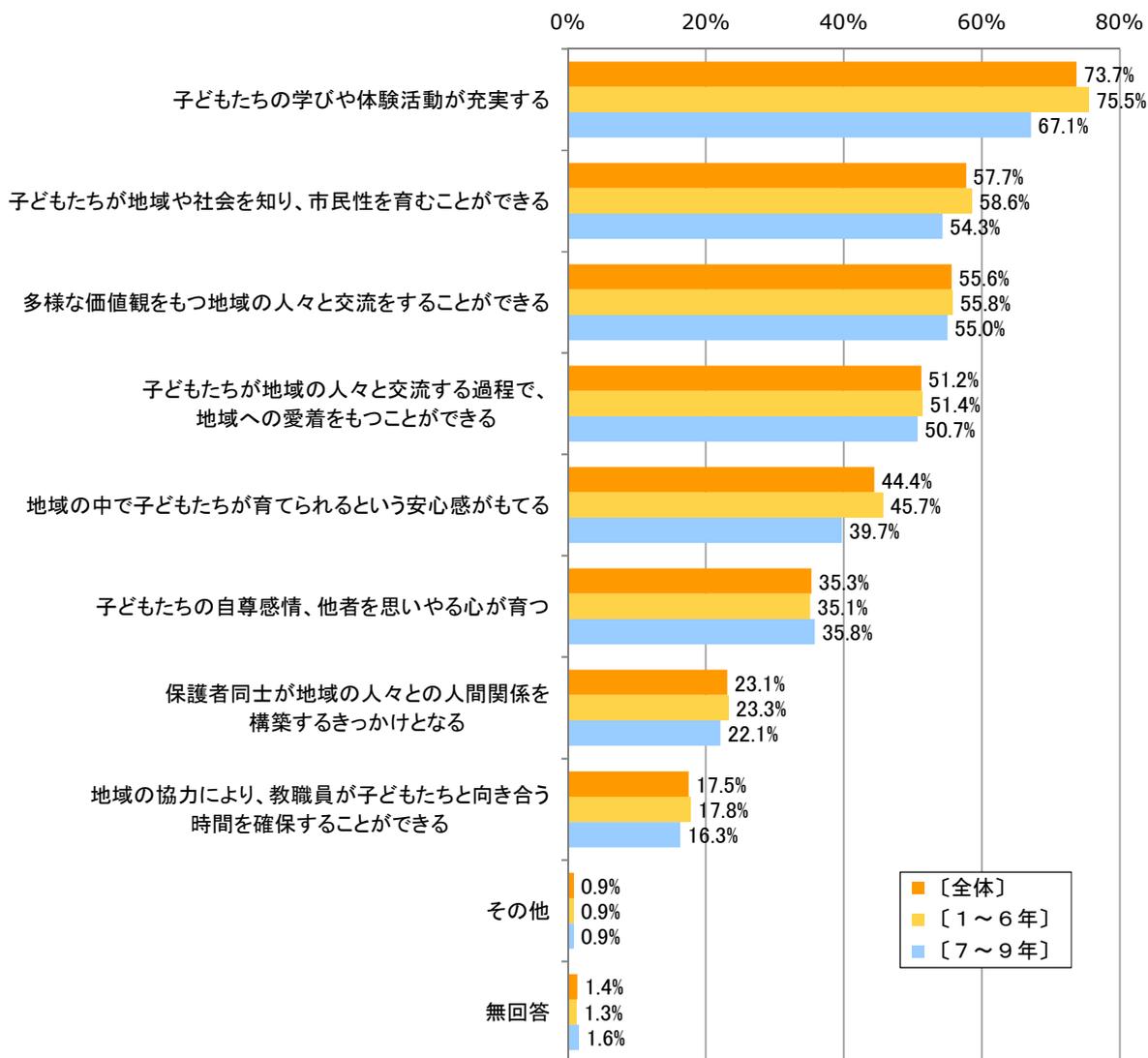
「お子さんの通っている学校は、地域と連携している」に『肯定的な回答』は、全体で約90%であり、1～6年では92.2%、7～9年では89.6%である。
 「当てはまる」の割合は1～6年の38.7%に比べ、7～9年は30.0%と低い。

[10] お子さんが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う。



「お子さんが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う」に『肯定的な回答』は、全体で約50%であり、1～6年では51.8%、7～9年では44.4%である。
 「当てはまる」の割合は全学年で10%以下である。

[11] 学校が地域と連携することによる効果として期待するものは何ですか。



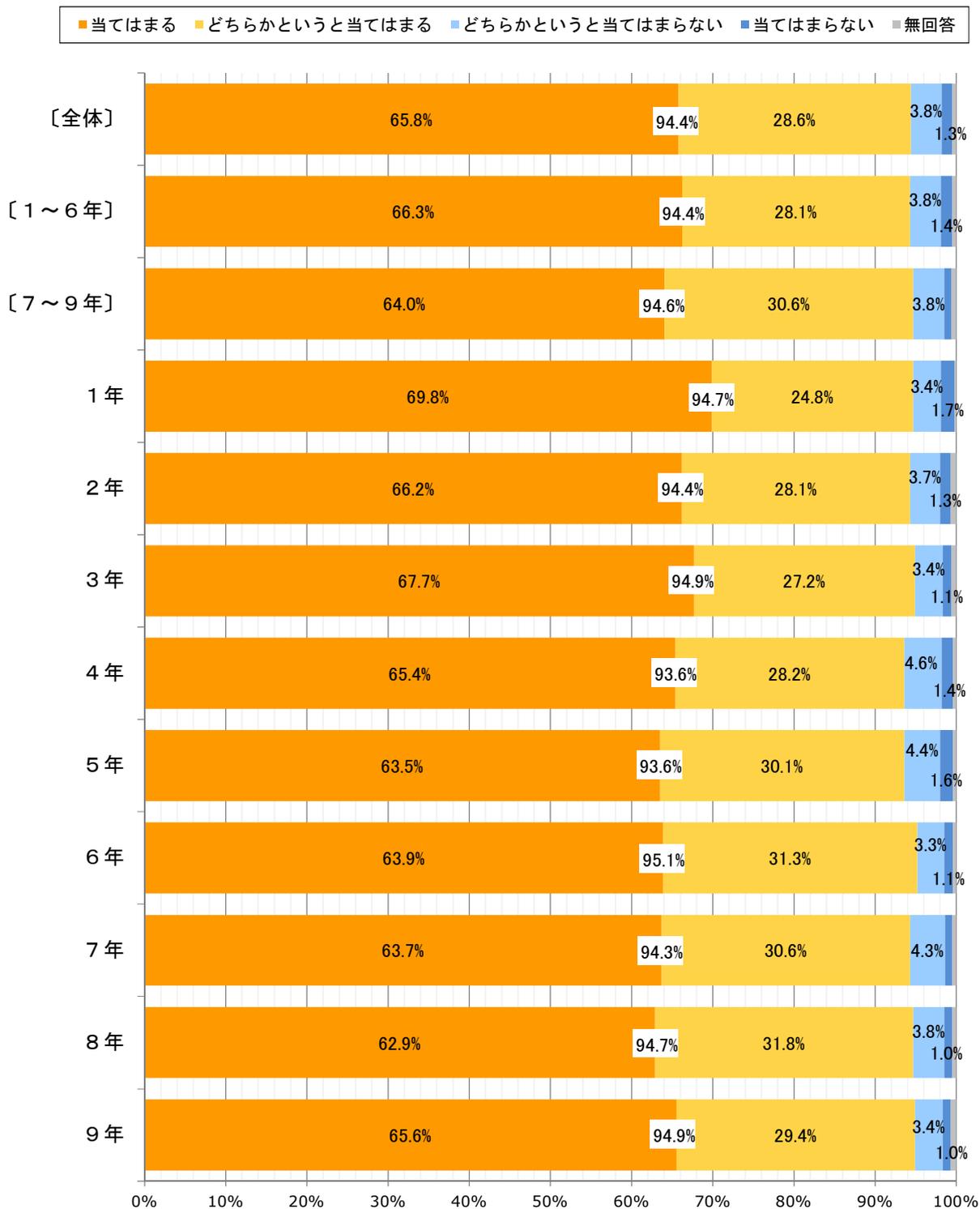
学校が地域と連携することによる効果として期待するものは、全体では「子どもたちの学びや体験活動が充実する」が73.7%と最も高く、次いで「子どもたちが地域や社会を知り、市民性を育むことができる」57.7%、「多様な価値観をもつ地域の人々と交流をすることができる」55.6%と続く。

「子どもたちの学びや体験活動が充実する」は1～6年が75.5%、7～9年が67.1%と、8.4ポイントの差がみられた。また、「地域の中で子どもたちが育てられるという安心感もてる」は1～6年が45.7%、7～9年が39.7%と、6.0ポイントの差がみられた。

「その他」の内容としては、「子どもの安全・防犯」が最も多く、次いで「活動を知らない」、「特になし」などがみられた。

[D. ICT教育について]

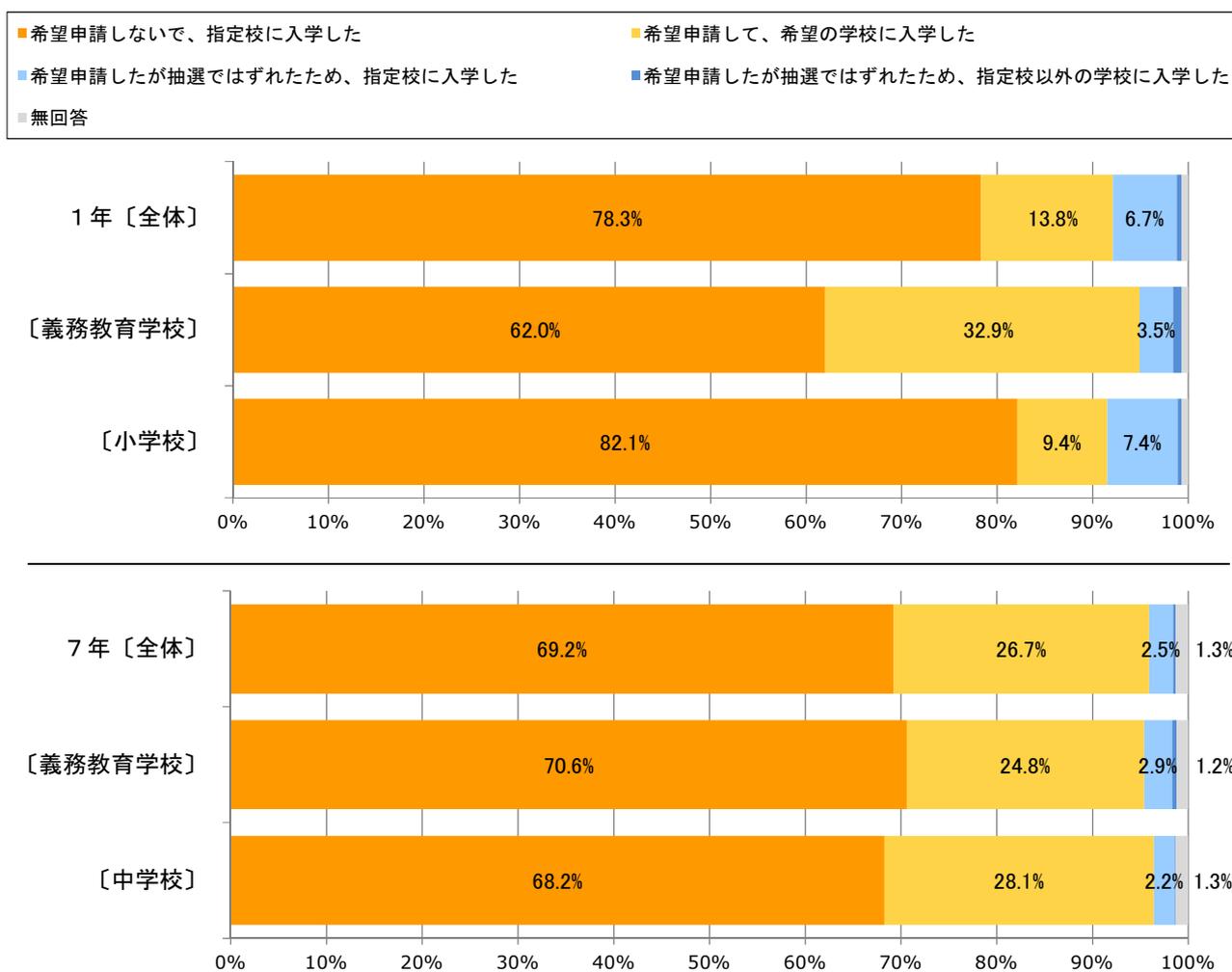
[12] お子様がコンピュータやタブレットなどのICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に
適応するための能力を身に付けることは重要だと思う。



〔ICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることは重要だと思う〕に『肯定的な回答』は、全体で約95%を占める。「当てはまる」は全学年で60%を超えており、回答傾向に学年による大きな差はみられない。

[E. 学校選択制について]

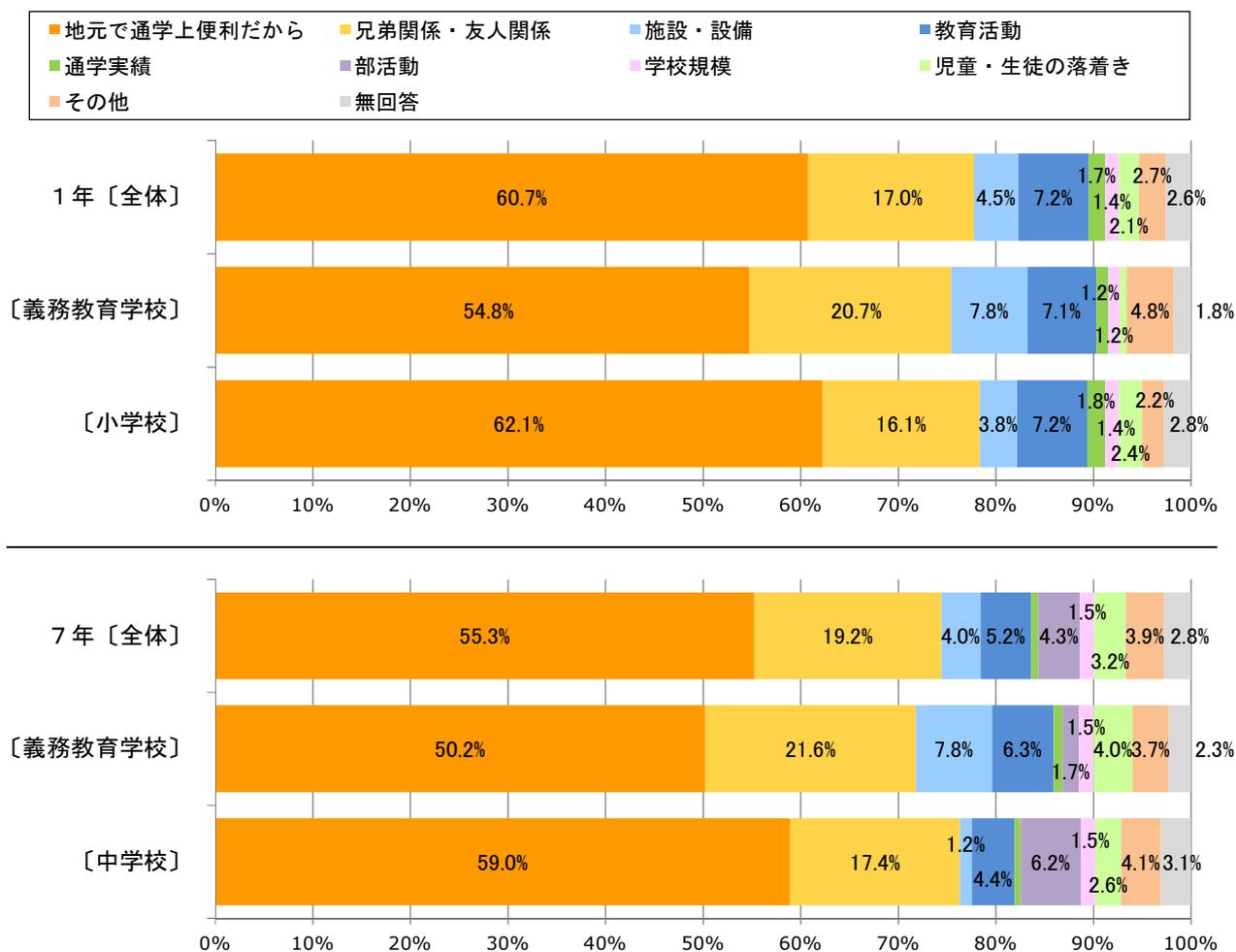
[13] 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。



学校を選択する際の希望申請の状況やその結果については、1年は7年より、「希望申請しないで、指定校に入学した」で9.1ポイント高く、「希望申請して、希望の学校に入学した」で12.9ポイント低い。

7年では〔義務教育学校〕と〔中学校〕に大きな差はないが、1年では〔小学校〕が〔義務教育学校〕より「希望申請しないで、指定校に入学した」で20.1ポイント高い。

[14] 学校(指定校または指定校以外)を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。

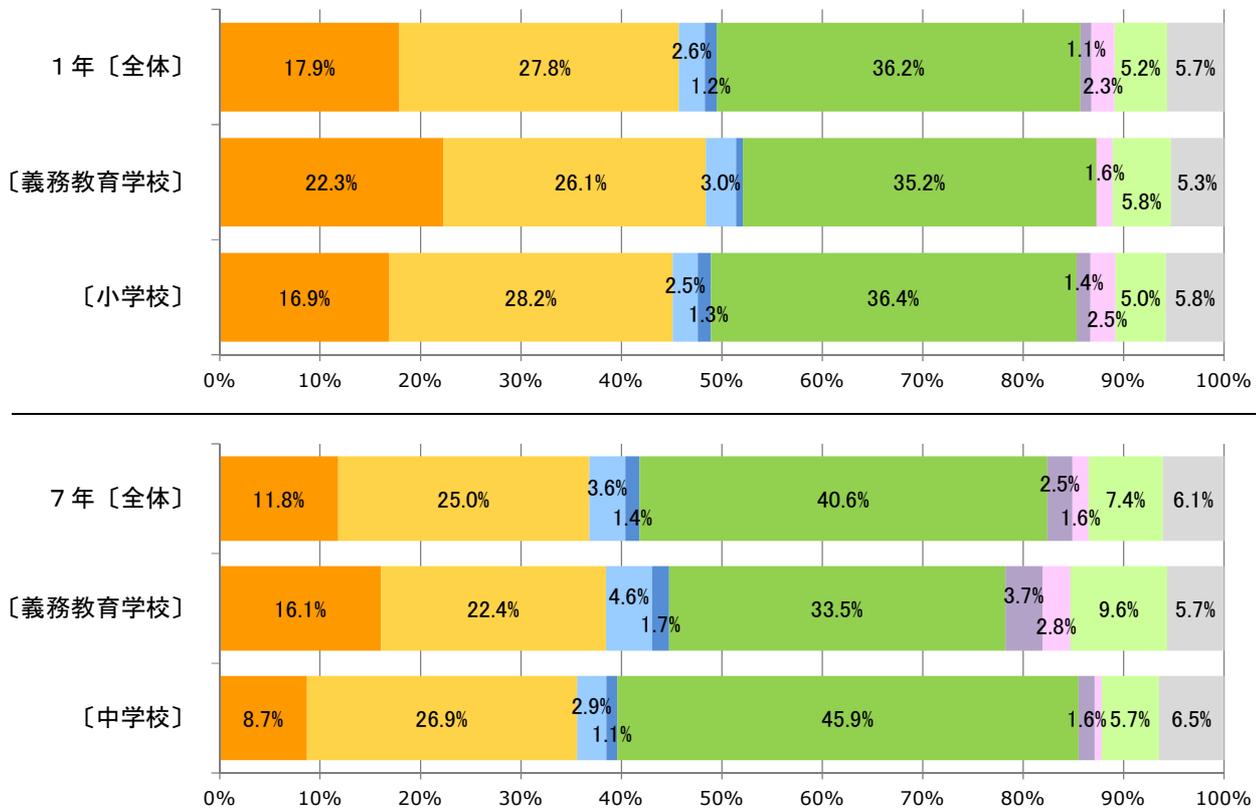
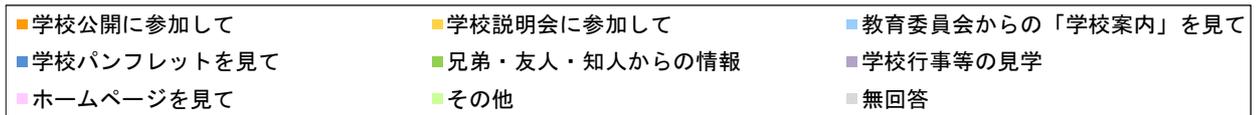


学校を選択する際に最も重視したことは、1年は7年より「地元で通学上便利だから」が5.4ポイント高い。

「地元で通学上便利だから」は1年、7年ともに〔小学校・中学校〕が〔義務教育学校〕より7～8ポイント高い。また、「施設・設備」は1年、7年ともに、〔義務教育学校〕が〔小学校・中学校〕より高く、7年では6.6ポイント高くなっている。

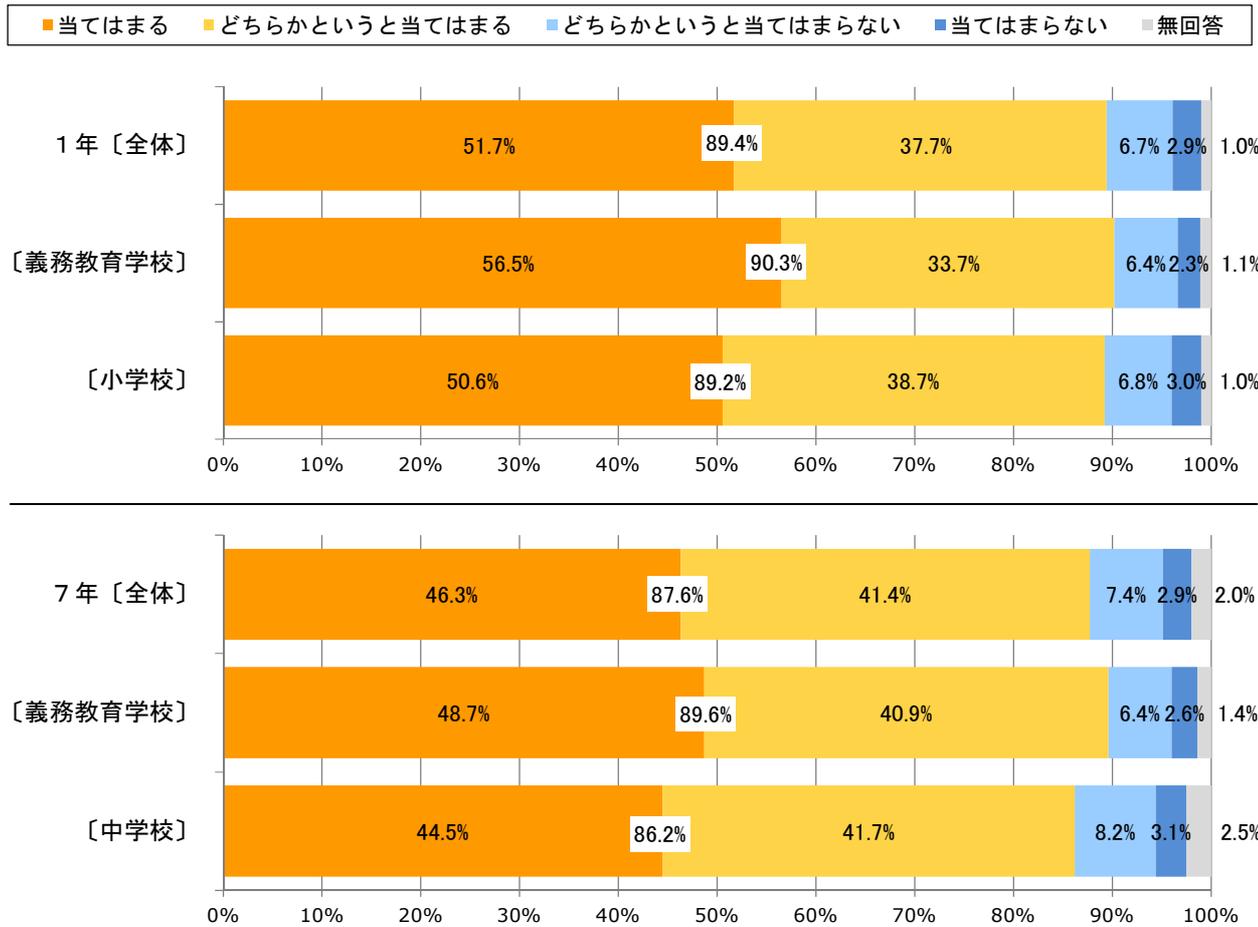
「その他」の内容としては、「子どもの希望」が最も多く、次いで「学校・先生の雰囲気・校風」、「特別支援学級・情緒学級がある」などがみられた。

[15] 学校(指定校または指定校以外)を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。



学校を選択する際、最も重視した情報は、1年、7年ともに「兄弟・友人・知人からの情報」が最も高く、1年は7年より「学校公開に参加して」が6.1ポイント高い。
 また、1年では〔義務教育学校〕は〔小学校〕より「学校公開に参加して」が5.4ポイント高く、7年では〔中学校〕は〔義務教育学校〕より「兄弟・友人・知人からの情報」が12.4ポイント高い。
 「その他」の内容としては、「家からの近さ・通学の安全性」が最も多く、次いで「特になし」、「選択していない」などがみられた。

[16] 学校選択制は良い制度だと思う。



〔学校選択制は良い制度だと思う〕に『肯定的な回答』は、1年、7年ともに90%弱を占め、「当てはまる」の割合は1年で51.7%、7年で46.3%と約半数を占める。
また、1年、7年ともに『肯定的な回答』は、〔義務教育学校〕のほうが〔小学校・中学校〕よりやや高い。